



Alpine Report

第44期第2四半期決算報告書

2009年(平成21年)4月1日~9月30日

アルパイン企業理念

アルパインは、人々の心を大切にし、
仕事の質を高め、活気に溢れた魅力ある企業を目指します。

1. 「個性の尊重」

アルパインは社員一人一人の誇りと情熱を大切にし、
人を育て、人を活かし、相互信頼の絆を築きます。

2. 「価値の創造」

アルパインは時代をリードする先進技術に挑戦し、
人々に喜びをもたらす新しい価値を創造します。

3. 「社会への貢献」

アルパインは品位ある商品の提供を通じ、
明日の豊かな社会作りに貢献します。



Audio



Visual



Navigation



Communication



Drive Assist



Driving Mobile Media Solutions™

モバイルメディアの未来価値へ



師走の候、株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
第44期第2四半期決算報告書をお届けするにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当上半期におきましては、国内でナビゲーション『リアビジョンナビX08プレミアム』がヒット商品となり市販市場の売上が伸張いたしました。しかしながら連結業績におきましては世界的規模での新車需要の減少に加え、円高の影響もあり、連結売上高は前年同期比38%減の764億円であったものの、現在推進中の構造改革の成果により、営業損失は期初計画から24%改善し56億円となりました。下期につきましては欧米高級自動車メーカーの需要回復の遅れもあり、売上が期初計画を下回るものと想定されます。このため、通期売上高を1,600億円に下方修正いたしました。このように当社を取り巻く経営環境が依然として厳しい状況が続くことから、当期の中間配当につきましては、見送ることとさせていただきます。

現在、更なる企業体質の強化を目指し、『CHALLENGE30+(プラス)』として損益分岐点の引下げを中心とした構造改革をグループ一丸となって推進しております。各種コスト削減などその成果が着実に現れてきておりますが、特に開発構造改革においては、日米欧の純正品ビジネスにおける競争力の強化につながり、将来のビジネス獲得にも成果をあげてきております。今後も今まで以上にこの構造改革を推し進め企業体質の強化、更には競争力を高めていく所存です。

また、次の大きな成長戦略として、世界一の自動車市場となりました中国において、販売網の強化を図るなど販売体制の再構築、更には現地の開発/パワーを活かすなど中国市場攻略に注力しております。その成果もあり、中国大手自動車メーカー向け純正品ビジネスの受注を複数獲得致しました。

加えて、地球規模で求められている環境問題に対応したエコ製品、また、「安全・安心」のクルマ社会に対応するための次世代の製品開発などを積極的に推し進め、今後の成長に向けた事業戦略を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

2009年12月

代表取締役社長

石黒 征三

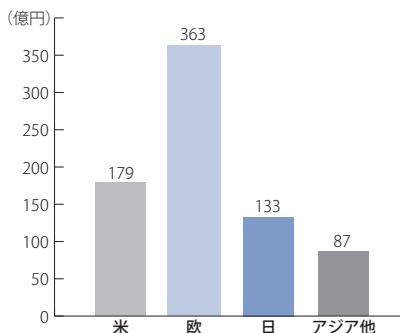
音響機器事業

当事業部門では、国内市販市場で、車室内にクリアな音を再現する「高音質スピーカー」の積極的な提案営業を行い、シェア拡大を図りました。また、欧米市場でも「スピーカー」や「アンプ」など車室内の音質をグレードアップするサウンドシステム商品の販売が堅調に推移しました。しかしながら、期初においては、北米市販市場で好調な売行きを示していた「CDプレーヤー」の販売が鈍化するなど、個人消費の悪化に伴う市場低迷や価格競争激化の影響を受け、総じて厳しい状況で推移しました。自動車メーカー向け純正品につきましては、新車の在庫調整が完了し適正レベルに戻りつつあることから、受注が一部回復しました。しかしながら自動車メーカーの生産規模回復の遅れにより、売上は減少しました。以上の結果、当事業部門の売上高は335億円(前年同期比39.0%減)となりました。

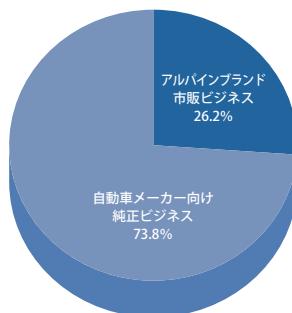
情報・通信機器事業

当事業部門では、国内市販市場に、新製品『リアビジョンナビX08プレミアム』を投入、そのシステム・ソリューションがユーザーより高く評価され、好調な売行きを示しました。当製品は、リアシート用の大画面・高画質モニター『リアビジョン』と、高画質画面や高音質に加え、低燃費の運転をアシストするエコガイドや先進のドライブアシスト機能が搭載されたナビゲーション『X08』から構成されたシステム商品で、本年度「用品大賞ーカーナビゲーション部門賞ー」(日刊自動車新聞社主催)を受賞しました。しかしながら、欧米市場において、市況悪化に加えポータブル・ナビゲーションやGPS機能搭載のスマートフォンの普及に伴い価格競争が激化、厳しい状況で推移しました。また、自動車メーカー向け純正品は、音響機器と同様、自動車の生産調整の影響に加え、新車需要の小型車シフトにより、ナビゲーションの装着率が高い高級車や大型車の生産・販売が減少したことから、厳しい状況で推移しました。以上の結果、当事業部門の売上高は428億円(前年同期比37.9%減)となりました。

地域別売上状況



事業部門別売上比率



自動車メーカー向け
純正ビジネス売上：
564億円



アルパインブランド
市販ビジネス売上：
109億円

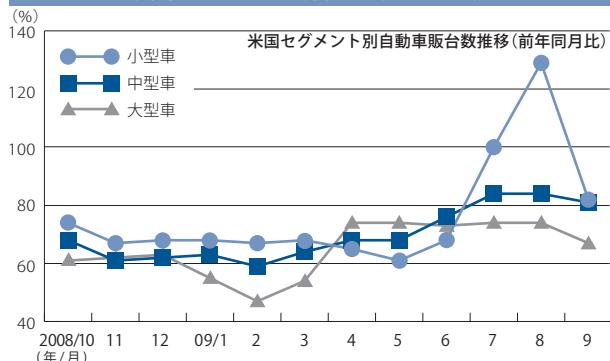


主要経営指標の推移(連結)

	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～2009年9月30日	第43期第2四半期累計 2008年4月1日～2008年9月30日	前年同期比増減
売上高	764 億円	1,239 億円	38.4%減
営業利益	△56 億円	10 億円	—
経常利益	△52 億円	31 億円	—
四半期純利益	△65 億円	22 億円	—
1株当り四半期純利益	△94 円 4 銭	32 円 94 銭	—
総資産	1,401 億円	1,760 億円	358 億円減
自己資本比率	64.9%	66.6%	—
流動比率(※)	221%	206%	—
流動資産	820 億円	1,100 億円	280 億円減
流動負債	371 億円	534 億円	163 億円減
ROA	—	1.3%	—

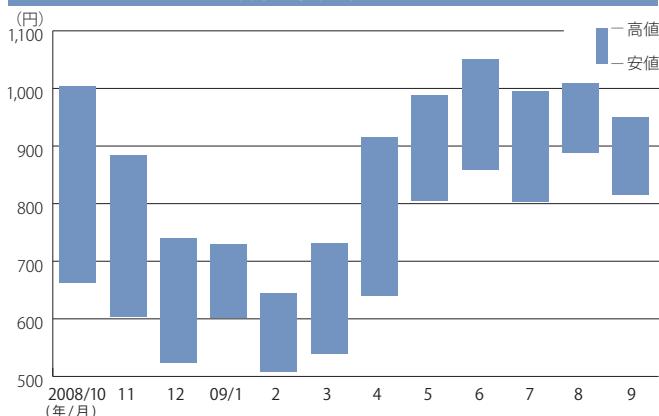
※流動資産 ÷ 流動負債 × 100

米国セグメント別自動車販売実績



米国自動車業界におきましては、新車買換え補助政策により、小型車や環境対応車種の販売が好調を示すなど、一部の車種に明るい材料はありましたものの、米国自動車メーカーの経営破綻の影響等で総じて厳しい状況で推移しました。

株価時系列データ



(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

リアビジョンナビX08Premium好調



国内市販ナビ前年比販売台数伸び率

国内市販市場向けに投入した新カーナビ「X08プレミアム」の販売が好調に推移しています。5月の発売以来、その操作性や先進の機能に高い評価を頂いております。また、一人ひとりのユーザーニーズにこたえる車種別カーライフソリューションをテーマに、「X08パーフェクトフィットシリーズ」を、インサイト、プリウスなどのハイブリッドカー

や売れ筋のミニバンなど10車種専用のパッケージとして販売。お客様、販売店様から好評を博しています。「パーフェクトフィットシリーズ」では素材にこだわったフェイスパネルや専用取付金具により、純正ナビゲーションのようにスマートな装着を実現するほか、自動車の純正ステアリングリモコンに対応し、地デジ選局やオーディオ選局が手でコントロール可能となります。またサウンド設定データを各車種ごとに用意。車にぴったりの高音質再生がすぐに楽しめます。実際に購入されたお客様からは「価格が安く、画質、性能が良かった。車種に合うキットを準備している取組みに安心感が持てた。」「他のメーカーよりも低価格で購入できたので、とても満足している。」などのご意見を頂いております。さらに市販初となる、車両を上空からの鳥瞰映像で表示する「Topviewマルチカメラ」や、子供用知育ゲーム「カービーナ」など、システムラインナップの強化を図り、一人ひとりのユーザーの満足度をより一層高め、拡販につなげて参ります。

いわき地区でのCSR活動強化

当社では、地域社会への貢献と環境保護の一環として、地元いわき地区におけるCSR活動に注力しています。さる8月29日にはアルパイングループ社員とその家族総勢250名が参加した海岸清掃が実施され、ペットボトル、缶、ビニールシート等、309袋ものさまざまなゴミを拾い集めました。また9月27日にいわき市小名浜アクアマリンパークで開催された「いわきエコ・フェスティバル」に出展し、アルパインの環境取組みやエコドライブの重要性を来場した多くの方々理解して頂きました。アルパインは環境への配慮のみならず、事業を通して「軽量化、省電力化、安価」に対応し「安心、安全」を実現する商品開発に取り組んでまいります。



海岸清掃

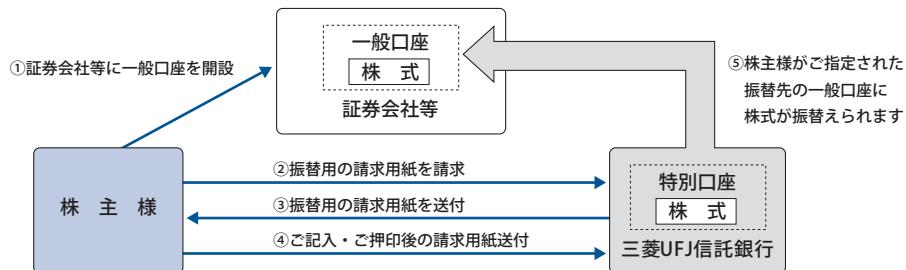
エコエコフェスティバル



「特別口座」で株式をご所有の株主の皆様へ

株券電子化に伴い、特別口座で単元株式(100株単位の株式)をご所有の株主様は、現行制度上そのお取扱いに制約があり、当該株式を株式市場で売却したり、特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することが出来ないなど、何かとご不便がおりかと存じます。当該株式を株式市場で売買するためには、証券会社等に一般口座を開設した後、三菱UFJ信託銀行の特別口座から株式を振替える必要がございますので、お知らせ致します。尚、既に証券会社等に一般口座をお持ちの場合、新たに口座を開設する必要はございません。

＜特別口座から一般口座への振替のお手続きについて＞



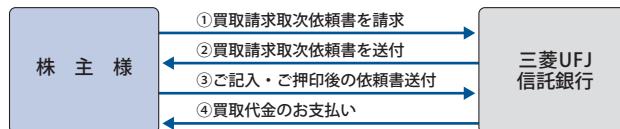
また、特別口座に単元未満株式(当社の場合は99株未満)をお持ちの株主様には、買取・買増制度のご利用をお勧めします。

・「買取制度」とは、ご所有の単元未満株式を、当社が市場価格にて買取らせて戴く制度です。

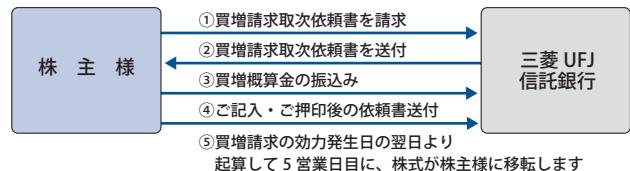
・「買増制度」とは、ご所有の単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように株式を当社が市場価格にて株主様に売却する制度です。

注: 既に証券会社等の一般口座に単元未満株式を預託されている場合、買取・買増のお手続きはお取引の証券会社等を通じて行って戴くこととなります。詳細につきましては、お取引の証券会社等にご確認くださいようお願い申し上げます。

＜買取のご請求をされる場合のお手続きについて＞



＜買増のご請求をされる場合のお手続きについて＞



尚、特別口座が開設された株主様には、本年2月に三菱UFJ信託銀行から「特別口座開設のお知らせ」をご送付いたしておりますので、ご確認下さいようお願い申し上げます。

【株式振替用の請求用紙／買取・買増請求取次依頼書の請求、お問合わせ先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711 (平日9:00—17:00) <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上記の他、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎ致します。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

	第44期第2四半期累計 2009年9月30日現在	第43期 2009年3月31日現在		第44期第2四半期累計 2009年9月30日現在	第43期 2009年3月31日現在
資産の部			負債・純資産の部		
① 流動資産	82,043	75,133	流動負債	37,124	30,498
現金及び預金	31,653	26,290	支払手形及び買掛金	18,106	12,434
受取手形及び売掛金	22,726	18,054	短期借入金	3,353	1,621
棚卸資産	19,019	19,076	その他	15,664	16,443
その他	8,643	11,712	固定負債	11,223	5,049
② 固定資産	58,101	57,288	長期借入金	5,402	—
有形固定資産	27,952	28,902	その他	5,821	5,049
無形固定資産	6,498	7,002	③ 負債合計	48,348	35,548
投資・その他の資産	23,650	21,383	株主資本	92,075	98,635
			評価・換算差額等	△1,116	△2,713
			少数株主持分	837	951
			純資産合計	91,796	96,873
資産合計	140,145	132,422	負債・純資産合計	140,145	132,422

(単位：百万円)

[連結財務諸表のコメント(ポイント)]

① 流動資産

前期・第4四半期(2009年1月～3月)を底として、売上の回復による「現金及び預金」および「売掛金」の増加から、69億円の増加となりました。

② 固定資産

「有形固定資産」および「無形固定資産」は設備投資の抑制により減少しましたが、「投資有価証券」の増加から、8億円の増加となりました。

※投資有価証券の増加は、お取引先企業の株式を保有しており、その株価を時価評価したことによるものです。

③ 負債

安定した運転資金確保のため、金融機関から長期・短期併せて71億円の「借入金」を調達したことにより、128億円の増加となりました。尚、当社の「自己資本比率」は64.9%であり、安定しております。

④ 営業利益(損失)

損益分岐点の引下げを中心とした構造改革を推進したことにより、損失を期初予想の75億円に対して19億円縮小し、56億円とすることが出来ました。

⑤ フリーキャッシュフロー

営業活動によるキャッシュフローが4億円の支出であったため、営業活動および投資活動によるキャッシュフローの合計であるフリーキャッシュフローは、17億円の資金減少となりました。



連結損益計算書

	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日	第43期第2四半期累計 2008年4月1日～ 2008年9月30日
売上高	76,410	123,999
売上原価	68,722	103,721
販売費・一般管理費	7,687	20,278
④ 営業利益または営業損失	△5,685	1,018
営業外収益	847	2,426
営業外費用	389	254
経常利益または経常損失	△5,227	3,189
特別利益	650	1,702
特別損失	851	1,526
税金等調整前四半期純利益	△5,429	3,366
税金(法人税等)	1,175	1,010
少数株主利益または少数株主損失	△43	57
四半期純利益または四半期純損失	△6,560	2,298

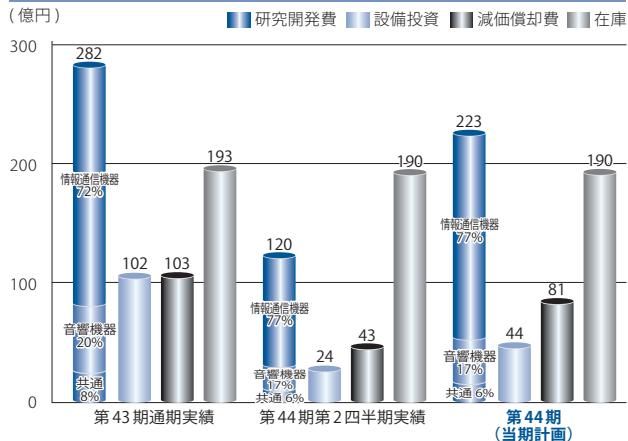
(単位:百万円)

連結キャッシュフロー計算書

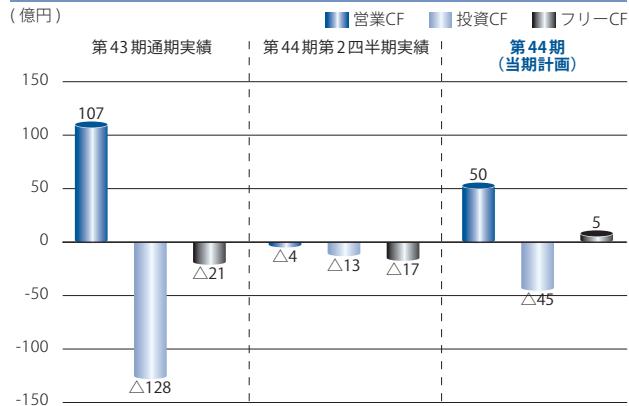
	第44期第2四半期累計 2009年4月1日～ 2009年9月30日	第43期第2四半期累計 2008年4月1日～ 2008年9月30日
⑤ 営業活動によるキャッシュフロー	△423	9,098
投資活動によるキャッシュフロー	△1,316	△6,705
財務活動によるキャッシュフロー	6,939	△1,155
現金及び現金同等物の換算差額	△102	△24
現金及び現金同等物の増加額	5,097	1,213
現金及び現金同等物の期首残高	26,141	30,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,238	31,372

(単位:百万円)

投資・在庫計画



⑤ キャッシュフローの状況



(注)記載金額は表示単位未満を切り捨て表示しています。

会社の概要

会社概要 (2009年9月30日現在)

社名	アルパイン株式会社
英文社名	ALPINE ELECTRONICS, INC.
本社 / 東京事務所	〒141-8501 東京都品川区西五反田一丁目1番8号 TEL 03(3494)1101(大代表)
いわき本社	〒970-1192 福島県いわき市好間工業団地 20番1号 TEL 0246(36)4111(大代表)
設立	1967年5月
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	69,784,501株
資本金	259億2,059万円
グループ従業員数	10,621名(連結ベース27社合計)
国内関係会社	アルパイン・マーケティング株式会社 アルパイン・テクノ株式会社 アルパイン・マニユファクチャリング株式会社 アルパイン・プレジジョン株式会社 アルパイン技研株式会社 アルパイン情報システム株式会社 アルパイン・ビジネスサービス株式会社 アルパイン・カスタマーズサービス株式会社 他4社
海外関係会社	27社 (米州:8社 欧州:9社 アジア・オセアニア:10社)
ホームページアドレス	http://www.alpine.com

役員状況 (2009年9月30日現在)

氏名	当社における地位および担当または主な職業
石黒 征三	取締役社長 (代表取締役)
宇佐美 徹	専務取締役 技術・開発統括
梶原 仁	常務取締役 欧州担当
佐藤 卓美	常務取締役 営業統括
田中 統治	常務取締役 経理・管理担当
中村 一男	常務取締役 製品開発担当
片岡 政隆	取締役 アルプス電気(株)代表取締役社長
相馬 聡	取締役 経営企画担当
猪狩 健次	取締役 共通開発担当
堀 重和	取締役 OEM製品開発担当
森岡 洋史	取締役 生産・購買担当
倉島 要	常勤監査役
奥山 直敬	監査役
吉野 賢治	社外監査役 公認会計士 アルプス電気(株)社外監査役 (株)アルプス物流 社外監査役
増田 好剛	社外監査役 弁護士



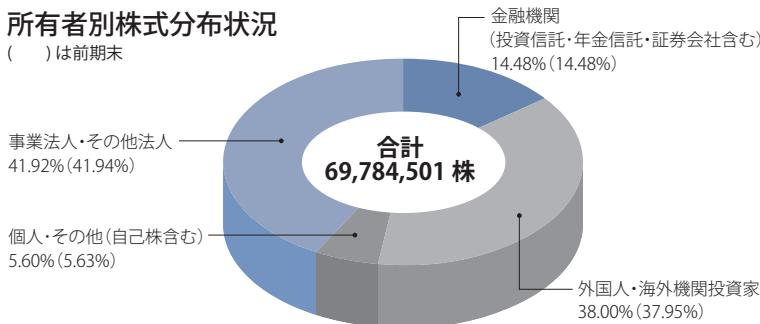
株式の状況 (2009年9月30日現在)

大株主	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	出資比率
株主名	百株	%	百株	%
アルプス電気株式会社	282,154	40.43	—	—
ノーザントラスト・カンパニー(AVFC)サブアカウント・アメリカン・クライアント	65,921	9.44	—	—
オーエム04・エスエスピー・クライアント・オムニパス	38,370	5.49	—	—
イチゴ・アセットトラスト	34,837	4.99	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,517	4.80	—	—
ノーザントラスト・カンパニー-AVFC USタックス・エグゼンプト・ベンション・ファンズ	25,848	3.70	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,634	2.67	—	—
ソシエテ・ジェネラル・パリ	11,604	1.66	—	—
バンク・オブ・ニューヨーク・タックス・トリイティ・ジャステック・オムニパスツー	7,697	1.10	—	—
メロンバンク・エヌエー・トリイティ・クライアント・オムニパス	7,432	1.06	—	—
アルパイン社員持株会	6,024	0.86	—	—
本田技研工業株式会社	5,851	0.83	36,000	0.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分、株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	5,440	0.77	—	—
ノーザントラスト・カンパニー(AVFC)アカウント・ノントリーティ	5,152	0.73	—	—
シービーエイチケーシーエフアイエル・コモンウェルス・スペシャリスト・ファンド4	4,310	0.61	—	—

(注) 信託銀行各社の持株数は、全て信託業務に係るものです。

所有者別株式分布状況

()は前期末



株主メモ

期 末 決 算 期 日 年 1 回 3 月 31 日
 利益配当金受領株主確定日 3 月 31 日
 中間配当金受領株主確定日 9 月 30 日
 基 準 日 定時株主総会については、3月31日。
 その他必要がある時は予め公告いたします。

定 時 株 主 総 会 6 月下旬
 公 告 掲 載 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.alpine.com/j/investor/index.html>)に掲載いたします。尚、
 やむを得ない事由により、電子公告
 ができない場合は、日本経済新聞
 に掲載いたします。
 ※決算公告に代えて、貸借対照表、
 損益計算書は EDINET (証券取引法
 に基づく有価証券報告書の開示書
 類に関する電子開示システム) に
 て開示しております。

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第 1 部
 証 券 コ ー ド 6816
 売 買 単 位 100 株 (1 単元)
 株 主 名 簿 管 理 人 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

郵 便 送 付 先
 電 話 照 会 先

〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目 10 番 11 号
 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
 証券代行部
 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)

◎ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



Driving Mobile Media Solutions

アルパイン株式会社

www.alpine.com